Cisco Nexus 9000v のトラブルシューティング

この章は、次の項で構成されています。

Cisco Nexus 9000v プラットフォームのトラブルシューティング

一般的なトラブルシューティング/デバッギング

次の CLI コマンドは、Nexus 9300v と Nexus 9500v の両方のプラットフォームのトラブルシューティング ヘルプを提供します。

show tech-support nexus9000v

このコマンドの出力例を次に示します。

```
switch# show tech-support nexus9000v

------------------ Virtual Chassis Manager Debugs ------------------

###############
# /cmn/pss/virt_cmgr.log
###############
[19-12-10 20:42:34.160609]: virt_cmgr_startup_init called
[19-12-10 20:42:34.161351]: virt_cmgr_validate_file returned success
[19-12-10 20:42:34.161390]: Version 1, VNIC_scheme 2
[19-12-10 20:42:34.161404]: VM sup1: Module no 26, upg_version 1, type 1, card_i
ndex 0, image loc None
…
…
…
```

すべてのハイパーバイザに共通の問題

VM が「loader >」プロンプトに落ちたときに起動する

通常、初期ブートは成功します。ただし、VM のプロビジョニング方法によっては、システムブートが失敗し、VGA コンソールまたはシリアル コンソールに「loader >」プロンプトが表示される可能性があります。

例：

```
               Loader Version 5.9

Loader > dir

bootflash::

  .rpmstore
  nxos.9.3.2.20.bin
  bootflash_sync_list
  .swtam
  eem_snapshots
  virtual-instance
  scripts
  platform-sdk.cmd

loader > boot nxos.9.3.2.20.bin
```

ブートを続行するには、「loader >」プロンプトで **boot nxos.9.3.2.20.bin** コマンドを入力します。

VM が「loader >」プロンプトにドロップしないようにする

Cisco Nexus 9000v をセットアップした後 (および POAP インターフェイスのセットアップに続いて)、システムのブートイメージを設定して、リロード/シャットダウン後に「loader>」プロンプトにドロップしないようにします。

例：

```
nx-osv9000-2# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nx-osv9000-2(config)# boot nxos bootflash:nxos.9.3.2.20.bin
Performing image verification and compatibility check, please wait....
nx-osv9000-2(config)# copy running-config startup-config
```

ブートアップ警告メッセージ

ブートアップ中に、次のような警告メッセージが表示される場合があります。

```
Checking all filesystems. **Warning** : Free memory available in bootflash is
553288 bytes
need at least 2 GB space for full image installation ,run df -h
```

このメッセージは通常、Nexus 9000v ブートフラッシュに別のイメージを保持するための十分なメモリ スペースがないことを示しています。この警告メッセージをなくすには、ブートフラッシュ スペースを解放して、別のバイナリ イメージをダウンロードできるようにします。

Nexus 9000v Mac エンコード モード ネットワーク マッピング チェック

このチェックは、Nexus 9500v プラットフォームで **platform vnic scheme mac-encoded** コマンドを明示的に入力した場合にのみ関係します。このコマンドは、vNIC Mac エンコード スキームを有効にします。いずれかのデータ トラフィックが通過する場合、または vNIC にマッピングされたインターフェイスに「リンクが接続されていません」状態が表示される場合は、Nexus 9000v 情報 show コマンドを参照して、正しい vNIC マッピングを確認します。

ESXi ハイパーバイザの問題

VM の電源を入れた後、Nexus 9000v のブートが表示されない

この問題の考えられる原因は、EFI ブートが VM 構成で設定されていないことです。この問題を解決するには、分散 OVA 仮想アーティファクトを使用したデプロイ後に、ESXi 展開ガイドを参照して、**[仮想マシン設定の編集（Edit virtual machine settings）] > [VM オプション（VM Options）] > [ブート オプション（Boot Options）]** で「BIOS」を「EFI」に変更します。

VGA 出力後に起動ログが表示されない

ESXi のブートアップ中によくある問題は、VGA コンソールに次のような出力が表示されることです。

```
Sysconf checksum failed. Using default values
console (dumb)

Booting nxos.9.3.2.6.bin...
Booting nxos.9.3.2.bin
Trying diskboot
 Filesystem type is ext2fs, partition type 0x83
Image valid


Image Signature verification for Nexus9000v is not performed.

Boot Time: 12/5/2019 10:38:41
```

問題は、VGA コンソールでは、起動プロセスに次のアクティビティがないことです。スイッチブートアップ プロセスがハングすると誤解されることがよくあります。スイッチブートアップの出力を表示するには、ESXi ハイパーバイザ展開ガイドに記載されている手順に基づいて、プロビジョニングされたシリアル コンソールに接続します。

シリアル コンソールで何も起こらない場合、または「telnet: リモート ホストに接続できません: 接続が拒否されました」というエラー メッセージが表示される場合は、次の 1 つ以上の問題を示しています。

- VM 構成のシリアル コンソール プロビジョニングが正しくありません。ESXi 導入ガイドのシリアル コンソール接続の手順を読んで、それに従ってください。
- サポートされているバージョンは ESXi 8.0 展開のみです。ESXi vCenter の有効なライセンスと有効な UCS サーバー ライセンスがあることを確認してください。
- サーバーの「セキュリティ プロファイル」に、着信接続と発信接続の両方で「ネットワーク経由で接続された VM シリアル ポート」があることを確認します。

Cisco Nexus 9000v のトラブルシューティング

VM の電源を切った後、「loader>」プロンプトにアクセスできない

この問題は、VM をパワーオンして期待どおりに起動したが、シリアル コンソールが正しくプロビジョニングされなかった場合に発生します。次に、「config t; boot nxos bootflash:nxos.9.3.2.20.bin」configure が実行され、保存されます。VM の電源を再度入れると、VGA コンソールにドロップします。

次の推奨事項は、ESXi ハイパーバイザでこの問題を回避するのに役立ちます。

EFI BIOS は、VM コンソールへのすべての入出力をデフォルトで設定します。VM が「loader >」プロンプトにドロップしたら、vSphere クライアントまたは VGA コンソールに移動して、「loader >」プロンプトにアクセスして、ハードディスク内のイメージを起動します。この動作を変更するには、ESXi VM 編集モードで追加の構成を追加します。次のいずれかの方法を使用します。

1. vSphere クライアントの [構成パラメータ] ウィンドウで、構成に 1 行追加します ([設定の編集] > [VM オプション] > [詳細] > [構成の編集])。
2. VM が作成されたら、efi.serialconsole.enabled = "TRUE" を .vmx ファイルに追加します。

Cisco Nexus 9000v が起動するとすぐに vCenter または UCS サーバーの接続が失われる

注意 vNIC を vSwitch またはブリッジに接続する場合、ネットワーク接続が正しくないと、ハイパーバイザー サーバーまたは ESXi 上の vCenter への接続が失われることがあります。

Cisco Nexus 9000v は、ESXi のグラフィック表現から入力された vNIC を、ハイパーバイザ サーバー内の外部または内部のネットワーキングに使用します。最初の NIC は、常に Cisco Nexus 9000v 管理インターフェイスとして使用されます。

Cisco Nexus 9000v VM の最初の NIC は管理インターフェイスです。ラボの LAN 物理スイッチまたは vSwitch (VM ネットワーク) に直接接続します。サーバー管理接続と競合する物理スイッチにデータ ポート vNIC を接続しないでください。

Cisco Nexus 9000v データ ポートが ESXi サーバーでトラフィックを渡さない

スムーズな操作を確保するには、vSwitch の特定の構成設定を有効にする必要があります。

- Cisco Nexus 9000v に接続している vSwitch のすべてのインスタンスが「無差別モード」=「受け入れ」になっていて、UCS サーバを指していることを確認します。このオプションには、vSphere Client から [構成] > [プロパティ] > [編集] からアクセスできます。
- vSwitch のすべてのインスタンスがすべての VLAN を通過するようにします。このオプションには、vSphere Client から [構成（Configuration）] > [プロパティ（Properties）] > [編集（Edit）] でアクセスできます。

ESXi 8.0 ハイパーバイザーは、多くの場合、ネットワーク インターフェイス アダプターを、Nexus 9000v プラットフォームでサポートされていない「E1000E」タイプにデフォルト設定し

ます。展開後、すべてのネットワーク アダプターの種類が「E1000」であることを確認します。

KVM/QEMU ハイパーバイザの問題

KVM/QEMU コマンドライン オプションを理解するには、基本的な Linux の知識が必要です。このハイパーバイザーに Nexus 9000v を展開するには、展開手順に従い、次の領域に注意してください。

- ユーザー ガイドで bios.bin が推奨されていることを確認してください。
- コマンドラインで複数のディスク入力がサポートされている場合は、VM が他のデバイスから起動しないように、起動可能なディスクが bootindex=1 に設定されていることを確認します。
- 複雑なコマンド ラインを実装しようとしている場合は、基本的な KVM/QEMU 展開手順に従って、最初に単純なスイッチ インスタンスを起動してユーザー環境を確認します。

KVM または QEMU ハイパーバイザでのマルチキャスト

Cisco Nexus 9000v のマルチキャスト機能はブロードキャストとしてサポートされています。この機能を正しく動作させるには、この環境ですべてのブリッジインターフェイスで IGMP マルチキャスト スヌーピングを無効にします。

次の例は、Linux プロンプトから vxlan_br1、vxlan_br2、vxlan_br3、および vxlan_br4 を無効にする方法を示しています。

```
echo 0 > /sys/devices/virtual/net/vxlan_br1/bridge/multicast_snooping
echo 0 > /sys/devices/virtual/net/vxlan_br2/bridge/multicast_snooping
echo 0 > /sys/devices/virtual/net/vxlan_br3/bridge/multicast_snooping
echo 0 > /sys/devices/virtual/net/vxlan_br4/bridge/multicast_snooping
```

LLDP、LACP などの L2 パケットを渡すには、KVM/QEMU 導入ガイドの Linux ブリッジ マスクの設定に従ってください。

Vagrant/VirtualBox の問題

VirtualBox/Vagrant でのネットワーキング

VirtualBox/Vagrant で dataplane インターフェイスを使用するには、次のことを確認してください。

- インターフェイスが「無差別（promiscuous）」モードである必要があります。
- VirtualBox のネットワーク設定で、無差別モードに対し「すべて許可（Allow All）」を選択します。
- **show interface mac** コマンドを使用して、トポロジ内の Cisco Nexus 9000v のすべてのインスタンスに一意の MAC アドレスがあることを確認します。

Cisco Nexus 9000v のトラブルシューティング

VirtualBox/Vagrant での VM の通常の起動:

```
Bringing machine 'default' up with 'virtualbox' provider...
==> default: Clearing any previously set forwarded ports...
==> default: Clearing any previously set network interfaces...
==> default: Preparing network interfaces based on configuration...
    default: Adapter 1: nat
==> default: Forwarding ports...
    default: 22 (guest) => 2222 (host) (adapter 1)
==> default: Booting VM...
==> default: Waiting for machine to boot. This may take a few minutes...
    default: SSH address: 127.0.0.1:2222
    default: SSH username: vagrant
    default: SSH auth method: private key
The configured shell (config.ssh.shell) is invalid and unable
to properly execute commands. The most common cause for this is
using a shell that is unavailable on the system. Please verify
you're using the full path to the shell and that the shell is
executable by the SSH user.
```

通常のブートアップが成功した後、**vagrant ssh** コマンドは Nexus 9000v スイッチ プロンプトにアクセスします。

以下は、VM のブートアップに失敗する可能性のある 1 つの例です。

```
Bringing machine 'default' up with 'virtualbox' provider...
==> default: Importing base box 'base'...
==> default: Matching MAC address for NAT networking...
==> default: Setting the name of the VM: n9kv31_default_1575576865720_14975
==> default: Clearing any previously set network interfaces...
==> default: Preparing network interfaces based on configuration...
    default: Adapter 1: nat
==> default: Forwarding ports...
    default: 22 (guest) => 2222 (host) (adapter 1)
==> default: Booting VM...
==> default: Waiting for machine to boot. This may take a few minutes...
    default: SSH address: 127.0.0.1:2222
    default: SSH username: vagrant
    default: SSH auth method: private key
Timed out while waiting for the machine to boot. This means that
Vagrant was unable to communicate with the guest machine within
the configured ("config.vm.boot_timeout" value) time period.

If you look above, you should be able to see the error(s) that
Vagrant had when attempting to connect to the machine. These errors
are usually good hints as to what may be wrong.

If you're using a custom box, make sure that networking is properly
working and you're able to connect to the machine. It is a common
problem that networking isn't setup properly in these boxes.
Verify that authentication configurations are also setup properly,
as well.

If the box appears to be booting properly, you may want to increase
the timeout ("config.vm.boot_timeout") value.
```

障害をトラブルシューティングするには、次の手順を実行します。

- メモリや vCPU などの十分なリソースが使用可能であることを確認します。PC またはサーバーで大量のメモリを消費するすべてのアプリケーションを閉じます。使用可能な空きメモリを確認してください。
- **vagrant halt –f** を入力して VM の電源を切ります。

- VM の電源を切った後、VirtualBox GUI に移動します。VM シリアル コンソールを有効にして、起動プロセスを監視し、[ポート]->[シリアル ポートを有効にする] で考えられる問題を表示します。

  または、次の VBox コマンドを使用して、このゲスト シリアル コンソールを有効にします。VM 名を見つけます。

  ```
  VBoxManage list vms
       "n9kv_default_1575906706055_2646" {0b3480af-b9ac-47a4-9989-2f5e3bdf263f}
  ```

  次に、シリアル コンソールを有効にします。

  ```
  VBoxManage modifyvm n9kv_default_1575906706055_2646 --uart1 0x3F8 4
  ```

- 元の「vagrant up」を入力した同じ端末から「vagrant up」と入力して、VM の電源を再度オンにします。
- シリアル コンソールにアクセスするには、コンピューターの別の端末から「telnet localhost 2023」と入力します。
- シリアル コンソールからの出力を観察して、ブートアップの問題を確認します。
- ゲスト シリアル コンソールが不要になった場合は、シリアル コンソールをオフにします。次の VBox コマンドを使用するか、VirtualBox GUI 設定に移動して [シリアル ポートを有効にする] の選択を解除します。

  ```
  VBoxManage modifyvm n9kv_default_1575906706055_2646 --uart1 off
  ```

Cisco Nexus 9000v データプレーンのトラブルシューティング

このセクションの debug コマンドと show コマンドは、Cisco Nexus 9300v と Cisco Nexus 9500v の両方のプラットフォームのトラブルシューティングに使用できます。これらのコマンドは、ラインカード/モジュールで実行する必要があります。

debug コマンド

- **debug l2fwder event**
- **debug l2fwder error**
- **debug l2fwder fdb**
- **debug l2fwder pkttrace**

これらのコマンドのいずれかを実行するには、次の例に従ってラインカードに接続します。

```
switch# sh mod | inc Mod
Mod Ports             Module-Type                        Model          Status
1    64   Nexus 9000v 64 port Ethernet Module   N9K-X9364v            ok
27   0    Virtual Supervisor Module             N9K-vSUP              active *
Mod  Sw                        Hw    Slot
```

```
Mod  MAC-Address(es)                         Serial-Num
Mod  Online Diag Status
switch# attach mod 1
Attaching to module 1 ...
To exit type 'exit', to abort type '$.'
module-1# debug l2fwder ?
  error     Configure debugging of l2fwder control and data path errors
  event     Configure debugging of l2fwder events over ipc
  fdb       Configure debugging of l2fwder events over fdb
  ha        Configure debugging of l2fwder events from sysmgr
  logfile   Enable file logging to /logflash/l2fwder.debug
  packet    Configure debugging of l2fwder packet forwarding information
  pkttrace  Configure debugging of l2fwder packet trace

module-1# debug l2fwder
```

Event History コマンド

- **show system internal l2fwder event-history events**
- **show system internal l2fwder event-history errors**
- **show system internal l2fwder event-history fdb**

コマンドの表示

show system internal l2fwder table bd

```
v-switch# show system internal l2fwder table bd

vlan    1  member 3, 4, 5,  untagged 3, 4, 5, STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan no
vlan   80  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan   90  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  110  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  210  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  310  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  410  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  510  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  550  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan no
vlan  560  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan no
vlan  610  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
vlan  650  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan no
vlan  660  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan no
vlan  710  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
```

Cisco Nexus 9000v のトラブルシューティング

```
vlan  810  member 3, 4, 5,  untagged none     STP ports 3, 4, 5,  dis none  blk_lis none
  lrn none  fwd 3, 4, 5,  tid 1, 2,  vxlan yes
```

show system internal l2fwder table if

```
v-switch# show system internal l2fwder table if

If_name       If_index    gport       fd    untagged  vlanid  Trunk  SVP Info  Native
vlan
------------+-----------+-----------+-----+---------+-------+------+---------+------------+
Ethernet1/1   0x1a000000  0x8000801   14    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/2   0x1a000200  0x8000802   15    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/3   0x1a000400  0x8000803   16    0         4045    0x1      none      40451
Ethernet1/4   0x1a000600  0x8000804   17    0         810     0x2      none      810
Ethernet1/5   0x1a000800  0x8000805   18    0         810     0x0      none      810
Ethernet1/6   0x1a000a00  0x8000806    0    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/7   0x1a000c00  0x8000807    0    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/8   0x1a000e00  0x8000808    0    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/9   0x1a001000  0x8000809    0    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/10  0x1a001200  0x800080a    0    1         4095    0x0      none      4095
Ethernet1/11  0x1a001400  0x800080b    0    1         4095    0x0      none      4095
```

show system internal l2fwder table port-channel

```
v-switch# show system internal l2fwder table port-channel

Port-channel    Count    Member-list
--------------+--------+------------
0x1             1        0x8002004
0x4             2        0x8005001 0x8000805
0x5             2        0x8002001 0x8000801

Port-channel    Count    Local member-list6
--------------+--------+------------
0x1             0
0x4             1        0x8000805
0x5             1        0x8000801
```

show system internal l2fwder table vxlan peer

```
v-switch# show system internal l2fwder table vxlan peer

VXLAN Tunnel:
        src_ip: 6.6.6.6, Is VxLAN enabled = TRUE
                multisite: no, nve_tun_dci_sip: 0.0.0.0
VXLAN PEER: No of tunnels = 7
        peer_ip: 224.1.1.2, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c000000, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 224.1.1.4, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c000002, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 224.1.1.6, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c000004, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 224.1.1.8, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c000006, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 224.1.1.9, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c000008, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 224.1.1.10, vxlan_port_id: 0x0,
                tunnel_id: 0x4c00000a, is_dp: 0 is_dci: 0
        peer_ip: 6.5.5.5, vxlan_port_id: 0x80002db8,
                tunnel_id: 0x4c00050a, is_dp: 0 is_dci: 0
   Tunnel_id entry:
        peer_ip: 224.1.1.2, tunnel_id: 0x4c000000
        peer_ip: 224.1.1.4, tunnel_id: 0x4c000002
```

Cisco Nexus 9000v のトラブルシューティング

```
        peer_ip: 224.1.1.6, tunnel_id: 0x4c000004
        peer_ip: 224.1.1.8, tunnel_id: 0x4c000006
        peer_ip: 224.1.1.9, tunnel_id: 0x4c000008
        peer_ip: 224.1.1.10, tunnel_id: 0x4c00000a
        peer_ip: 6.5.5.5, tunnel_id: 0x4c00050a
   Vxlan_gport ucast-entry:
        peer_ip: 6.5.5.5, vxlan_port_id: 0x80002db8
```

show system internal l2fwder table vxlan vni

```
v-switch# show system internal l2fwder table vxlan vni

VNI      VLAN    DF
----     ----    ----
81000    810     no
51000    510     no
5001     1001    no
5002     1002    no
5003     1003    no
5004     1004    no
21000    210     no
71000    710     no
9000     90      no
41000    410     no
11000    110     no
61000    610     no
31000    310     no
```

show system internal l2fwder table if

```
v-switch# show system internal l2fwder acl info

Inactive List:

Entry ID: 14596 Qualify: DstTrunk 4,    Action: RedirectTrunk 5 Prio: 4

Active List:


Inactive List:


Active List:

Entry ID: 15873 Qualify: EtherType ARP ForwardingVlanId 110, 610, 710, 1001, 1003,
Action: CopyToCpu SET Drop SET  Prio: 1
```

show system internal l2fwder mac

```
v-switch# show system internal l2fwder mac

Legend:
        * - primary entry, G - Gateway MAC, (R) - Routed MAC, O - Overlay MAC
        + - primary entry using vPC Peer-Link,
        (T) - True, (F) - False, C - ControlPlane MAC
   VLAN     MAC Address      Type     Secu NTF Del  Ports  Station_id
---------+----------------+--------+---------+----+------+------------------
*     1    008b.860d.1b08    static    F       F    0      0xc000005   0
G     -    008b:860d:1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 508,
*   210    0000.4545.6767    dynamic   F       F    0      0xc000004   0
G   710    008b.bc90.1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 0
G   310    008b.bc90.1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 0
G     -    0002:0002:0002    static    F       F    0      sup-eth1(R) 1,
```

```
*   210    008b.860d.1b08    static    F       F    0      0xc000005   0
G   410    008b.bc90.1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 0
*  1003    008b.2b34.1b08    dynamic   F       F    1      nve(0x80002db9)   0
*  1002    008b.2b34.1b08    dynamic   F       F    1      nve(0x80002db9)   0
*  1001    008b.2b34.1b08    dynamic   F       F    1      nve(0x80002db9)   0
*  1004    008b.2b34.1b08    dynamic   F       F    1      nve(0x80002db9)   0
*   810    008b.860d.1b08    static    F       F    0      0xc000005   0
G   510    008b.bc90.1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 0
*   610    008b.2b34.1b08    dynamic   F       F    1      nve(0x80002db9)   0
G     1    008b.bc90.1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 0
G     -    008b:bc90:1b08    static    F       F    0      sup-eth1(R) 511,
```

show system internal l2fwder table if

```
v-switch# show system internal l2fwder port egress info

Ingress port :        Blocked egress ports
+--------------------+--------------------+

0x8002001       1       5
0x8000801       1       5
0x8020821       1       5
```

show system internal l2fwder vpc info

```
v-switch# show system internal l2fwder vpc info

VPC role : Primary
```

パケット キャプチャ コマンド

Cisco Nexus N9000v は、スタンドアロンの Nexus 9000 ハードウェア スイッチと同様に Ethanalyzer をサポートします。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。